

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>① 関の上橋は、農地への連絡橋として地区民の利用度が高い木橋ですが、老朽化し、橋げたなど痛んでいます。子どもたちも魚釣りなどして遊んでおり危険なので、早急に永久橋に架け替えをお願いします。</p>	農林課	<p>関の上橋は木橋のため老朽化による損傷が目立ってきましたが、永久橋への架け替えには、約8,000万円の事業費が見込まれます。約100メートル下流に県道の角行橋と500メートル上流に市道の湯の上橋があることから、現在のところ新設の計画はありません。当面は、安全面に配慮しながら部分的な補修を実施し、危険のないように対応してまいります。</p>
<p>② サケの放流事業は大変発想が良かったと思います。市民のボランティア活動による河川敷等の草刈りやごみ拾い等を継続推進する一方、行政では川底のヨシや土砂除去を行い、サケの遡上環境の整備を図っています。行政と市民ボランティアが協調し、天童市域の自然環境の保護活動を展開するものです。津山地区のみならず、関係地区と一体的発展的に展開したいと思います。</p> <p>また、川底の土砂除去については、大雨による被害を防止するため、早急に対応をお願いします。特に昨年もお願いしている古瀬川下流域と貫津川の下流部分に多く堆積していますので、確認をお願いします。</p>	農林課 建設課	<p>下水道事業の普及と市制施行50周年の記念を契機として、サケの遡上するきれいな河川をつくり、ふるさとの自然保全と環境浄化を進めるため、市内の5河川にサケの稚魚12万尾を放流したものです。</p> <p>4年後に遡上が予想されますので、4年間は継続して実施していきたいと考えています。サケの遡上が繰り返され、循環が確立されることを期待しています。</p> <p>また、自然保全や環境浄化については、地域の皆様による水質検査をはじめ河川のごみ拾いや草刈りなど活動いただいていることに感謝申し上げます。これらの活動が、河川ごとに連携され活動の広がりができることに大きな期待を持っているところです。</p> <p>古瀬川、倉津川及び貫津川の堆積土砂の処理については、大雨による被害が心配されるため、以前から、県に土砂掘削の要望を行っていますが、まだ、実施はされていないようです。</p> <p>災害の未然防止と河川環境の整備の上から、さらに、早期の実施を要望していきます。</p>

